公益社団法人
東京都理学療法士協会
News
NO.217

2021.2.25 発行
◆発　行　公益社団法人
東京都理学療法士協会
◆発行人　森島　健
◆編集人　井出　大
久保江祥子
医療法人社団永生会
〒193-0942　東京都
八王子市椚田町 583-15
TEL :042-661-4108

公益社団法人　東京都理学療法士協会　主催
第３９回　東京都理学療法学術大会　第５報

大会長：池田 由美

準備委員長：美崎 定也

第 39 回東京都理学療法学術大会報告

第 39 回東京都理学療法学術大会は，１月１０日～２４日まで WEB 形式にて開催しまして，成功裡に終了いたしました．当初の集合参加型から変更し，慣れない運営のなかではありましたが，学会当日に開会式，シンポジウム，閉会式をライブ配信することができました．当日の配信に加えて，基調講演，特別講演，教育講演，一般演題をオンデマンド配信とし，会期中は自由に視聴できるようにいたしました．学術大会にご参加くださいました皆様，準備･運営にご支援，ご尽力くださいました，後援団体様，協賛関係各社様，関係者の皆様に厚く御礼申し上げます．

池田由美大会長

○第 39 回東京都理学療法学術大会テーマ「人生 100 年時代の理学療法」
○大会長：池田由美（東京都立大学）
○会　期：令和３年１月１０日～２４日，１月１０日にライブ配信
（開会式，シンポジウム，閉会式）
○事前登録者：280 名（学会参加者 239 名）

森島健会長

217 号の目次

第３９回東京都理学療法学術大会第５報・・・・・・・・１
政策検討委員会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２～３
地域活性局・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４～７
エスカレーターマナーアップ推進委員会・・・・８～９
渉外局医療報酬部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０～１５
障害福祉局・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６～１７
スポーツ局　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８～２０
災害対策委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
広報局外宣部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
研究推進部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２～２３
倫理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
選挙管理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
機関紙編集部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４～２５
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

政策検討委員会の活動についての紹介

東京都理学療法士協会
会長　森島　健

東京都理学療法士連盟
会長　原島　宏明

東京都理学療法士協会
政策検討委員会 委員長　遠藤　敦

森島会長　今日は東京都理学療法士協会（以下、都協会）と東京都理学療法士連盟（以下、都連盟）の活動と政策提言書をもとにお話ができたらと思い、都連盟会長の原島宏明氏と都協会政策検討委員会の遠藤敦氏をお呼びいたしました。都協会の中の委員会として都連盟とともに理学療法士の要望を実現するための会としたいと思います。まず、政策検討委員会の活動内容などを教えてください。

遠藤委員長　宜しくお願いいたします。政策検討委員会は都協会会長を始め協会員からの要望を受け、診療報酬・介護報酬改定や利用しやすい制度の要望などを取りまとめております。今までにも、東京オリンピック・パラリンピックに向けた参画の支援や介護予防及び地域リハビリテーション事業の推進、訪問リハビリテーションの普及などを政策提言書として作成いたしました。

森島会長　実際の流れなどはありますでしょうか？

遠藤委員長　毎年８月に練馬区自民党と要望懇談会が開催され、都協会練馬区支部と都連盟と政策検討委員会合同で説明と要望を行っています。

森島会長　今、練馬区が例えに上がりましたが、都協会も支部化が設置されているので問題や要望が吸い上げやすくなっているのはないでしょうか？ 支部化を進めたことによって所有感を持てる活動が各支部で行ってくれているので絶対、組織力は上がると思います。特に地域包括ケアシステムを考えると市区町村と対峙しなくてはならない。このようなとき支部化は絶対必要だと考える。これは都連盟でも同じようなことが言えると思いますが、原島会長いかがですか？

原島会長　そうですね。今までも連盟で選挙活動支部のような形で行ってきたが、大田区・中野区・杉並区・練馬区・葛飾区・八王子市・青梅市の７市区でしか活動できていませんでした。

森島会長　都協会も長い間、ブロック活動が根付きにくかった。地域包括や都学会の運営持ち回りをすることで支部を含めて根付くようになってきました。

原島会長　それで都連盟でもぜひ支部化を進めようと考え２０２１年に４２支部ある中の２５支部を先に設置させていただいてこれからスタートします。新たに支部長も任命し２５名おりますので都連盟のホーム・ページ（https://pt-renmei.jp/tokyo）を見ていただけたらと思います。もちろん都協会支部と都連盟支部で交流含めて進められたら良いなと思います。

森島会長　最後に今後の活動内容などありましたら教えて下さい。

原島会長　今年は７月４日に都議会議員選挙があり９月には東京都へ要望の提案がある。都協会・都連盟の要望を受け入れていただくためにも都連盟としては選挙での応援しかできない。１０月には東京のリハ議連に参加してくださっている１０名の衆議院議員がおり、衆議院議員総選挙も開催され、来年の診療報酬改定にも意見を取り入れていただくためにも応援したいです。お時間あればご協力をお願いいたします。

森島会長　ありがとうございます。都協会としても選挙は大切ですが都協会は、政治活動はできるが選挙活動は出来ない。しかし、やれることは限られている。個人では片手落ちになってしまう。都協会としてもやれることはやっていきたい。今後は、 団体としての結束を強め都協会と都連盟両輪で進めていきましょう。

報告

局長　中澤　幹夫

第 40 回東京都理学療法学術大会（第 1 報）

テーマ　：理学療法の多様性ー理学療法の可能性を考えるー

会　　期：2021 年 11 月 21 日（日）
会　　場：東京医科歯科大学（〒 113-8519　東京都文京区湯島 1-5-45）
開催方法：ハイブリッド　※会場での集合型＋オンラインによる配信型の双方での開催
大 会 長 ：伊藤滋唯（ケアセンター南大井）
副大会長：岡村大介（聖路加国際病院）
大会準備委員長：山手千里（東京衛生学園専門学校）
担当ブロック：区中央部・区南部・島しょブロック

理学療法の多様性ー理学療法の可能性を考えるーを大会テーマとし、第 40 回東京都理学療法学術大会を 2021 年 11 月 21 日（日）に開催することが決定しました。

病院のみならず、地域、企業、教育など様々な働き方ができる理学療法の職域に関して、講演、シンポジウムを通して理学療法の可能性を考えるきっかけとなるような学会にできればと考えております。また東京オリンピック・パラリンピックからの学びについても、皆様と共有できればと考えております。

本大会は、区中央部・区南部・島しょブロックが担当し、会場は東京医科歯科大学で開催致します。ハイブリッド開催という初の試みであり、これまでとは異なる形式での開催方法ではありますが、40 回の節目を迎える東京都理学療法学術大会を、皆様と共に有意義な大会にできるよう、準備を進めて参ります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

高尾山パワフルチャレンジでの相談会

西多摩南多摩ブロック部八王子市支部

日時：令和 2 年 10 月 22 日（木）8:30 ～ 16:00
会場：高尾山
参加者：都民 60 名
内容：八王子市福祉部高齢者いきいき課主催、医療専門職と一緒に登る「高尾山パワフルチャレンジ」が 10 月 22 日に開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、5 月に予定されていた第 1 回は中止となり、今回は八王子市との協議により、感染対策を行なった上での開催となりました。

参加者数は 60 名定員と、通常より少ない募集とし、参加者には原則的にマスク着用、手指衛生をお願いしました。また、少人数での班分けや、スタッフも最少人数とするなど、密にならない工夫を行いながらの登山となりました。距離を保ちながらも談笑する姿や笑顔も見られ、「楽しく登山できた」、「また参加したい」といった感想もありました。

転倒等への注意と、感染対策の両立について難しさもありましたが、参加者、スタッフ両者がお互いに配慮し合う事で、無事にイベントを終えることができたと思います。

報告者：齋藤　隆哉（東京医科大学八王子医療センター）

町田市総合健康づくり月間　～新しい健康づくりのはじめかた～

西多摩南多摩ブロック部町田市支部

日時：2020 年 11 月 15 日（日）14 時～

内容：町田市主催の総合健康づくり月間のオンラインセミナーの実施事業者として、町田市支部が参加しました。内容は『親子での体操・ストレッチ』と題してZOOM を用いたセミナーを実施。頂聡美氏 (町田市支部：みんなの訪問看護リハビリステーション木曽）を講師に、ライブ配信をしました。支部員のお子さんにも協力してもらい、下肢のストレッチの間違いやすいポイントや、正しい方法を親子で確認しながら行える内容で解説しました。これまでは対面でのリハビリ相談会を開催しておりましたが、今回初めてオンライン形式となり、準備から本番まで戸惑うことはありましたが、市関係者と部員が協力して無事終えることができました。町田市支部は、コロナ禍においても引き続き町田市民の健康に寄与するべく活動していきたいと考えています。

報告者；菊池　昭（町田市民病院）

令和２年度　足立区支部研修会④

区頭部東北部ブロック部足立区支部

日　時：令和 3 年 2 月 10 日（水）19 時 00 分～ 20 時 30 分
会　場：ZOOM　ウェビナー
参加者：54 名
テーマ：中堅セラピストにも知ってほしい，呼吸・循環動態のアセスメント
講　師：高良　優希先生
　　綾瀬循環器病院　リハビリテーション科
　　順天堂大学大学院リハビリテーション医学 (修士課程)
資　格：認定理学療法士 (呼吸・循環)，心臓リハビリテーション指導士，3 学会認定呼吸療法士

内容：足立区支部として，初となるオンラインでの研修会開催となりました．参加者は 54 名と定員 50 名をオーバーする程の反響がございました．講師には，昨年度も講演いただいた高良優希先生をお招きし，中堅者向けの呼吸・循環器リハの内容をお話いただきました．また，整形外科疾患や脳血管疾患を中心に治療されている先生方の，呼吸・循環に対する苦手意識を払拭する程の分かりやすい内容となっており，満足度の高い研修会であったと感じております．

報告者：池田　光佑（苑田会人工関節センター病院）

報告

局長　中澤　幹夫

令和２年度 町田市支部研修会

西多摩南多摩ブロック部町田市支部

日　　時：2020 年 12 月 10 日（木）19：00 ～ 21：00
場　　所：オンライン形式（ZOOM）
参加者数：47 名（都士会員 41 名）
内　　容：

本会はテーマを「既往歴として心疾患を有する方への関わり方」と題し、講師に亀川大輔先生 (ウィレッジ訪問看護リハビリステーション) を迎えご講演を頂きました。内容は、心疾患の基礎知識から検査結果の解釈、理学療法を実施するうえでのリスク管理など、急性期から在宅まで幅広い分野で応用できるものを約 60 分間解説していただき、その後に 3 ～ 5 名のグループワークを約 30 分間行いました。グループワークでは講演内容の理解を深めるために質問事項の検討や、心疾患を有する方に対する日頃の業務について情報交換を行いました。

運営面では、コロナ禍における研修会の開催方法や内容について「オンライン + グループワーク」と決定し、その準備をするために大変な作業となりました。オンライン形式に不慣れな参加希望者のためにより詳しく参加方法を案内し、接続テストの機会もつくりました。グループワークは ZOOM のブレイクアウトルーム機能を使用し、事前に職域や経験年数を考慮してグループ分けを行いました。

参加者アンケートでは、研修会全体として非常に満足度が高く、講演内容についても理解度が高い回答を頂きました。また、オンライン形式の開催方法についても多くの肯定的なご意見を頂戴し大変好評でした。今後もコロナ対応が必要な状況は継続されますが、より充実した研修会の開催方法について模索をし、会員の資質向上と会員同士のつながり強化の一助となるよう活動を続けて参ります。

報告者：菊池　昭（町田市民病院）

西多摩南多摩ブロック部　WEB 研修会 (第１弾・第２弾)

西多摩南多摩ブロック部町田市支部

担　当　西多摩・南多摩ブロック部
日　時　第 1 弾　2020 年 12 月 17 日（木）　19：00 ～ 20：30
　　第 2 弾　2021 年 1 月 22 日（金）　19：00 ～ 20：30
内　容
　本研修会は若手ｾﾗﾋﾟｽﾄの育成を目的に、臨床での不安を解消するための評価と治療の考え方を臨床場面で活かせる内容で講義をしていただきました。
第 1 弾は「脳血管疾患に対する評価と治療の考え方」として
東京医療学院大学、杉本諭氏を講師にお迎えし、脳卒中の評価全般と臨床的推論の流れ、実際の治療場面（動画を用いて）の講義を頂きました。質問（チャットを利用）が多く出て、活発な質疑応答が行われ、参加者のアンケートからも、とても満足度の高い研修であったとの声が寄せられました。
（参加者 91 名（都士会員 70 名、他県士会員 2 名、非会員 19 名））

第 2 弾は「変形性膝関節症患者への理学療法評価と治療」として
多摩ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学院専門学校、鈴木恒氏を講師にお迎えし、疫学調査、術式の紹介、症例に対する問題点の抽出と治療の考え方などをご講義いただきました。現場での実際の患者さんに関する質問が出て、明日からの臨床に活かせる内容だったと思います。今回の参加者アンケートでも、とても満足度の高い研修だったとの声を頂きました。
（参加者 81 名（都士会員 63 名、他県士会員 3 名、非会員 15 名））

西多摩・南多摩ブロック部では、初めての Web 研修を行うため、準備から本番まで様々なことを想定して会議を進めて来ました。各部員で役割分担をし、各々の協力のもとに開催することが出来ました。コロナ禍で今年度の各研修会が中止される中、来年度は Web 開催を検討しているブロック・支部も多いと思いますが、会員のための情報発信機会を増やすために、Web での研修会を開催していただけたらと思いました。

第 1 弾「脳血管疾患に対する評価と治療の考え方

第 2 弾「変形性膝関節症への理学療法評価と治療」

報告者：小林　健一（康明会ホームケアクリニック）

報告

委員長　齋藤　弘

エスカレーターマナーアップ推進委員会　活動報告

１月に予定しておりましたシンポジウムは緊急事態宣言により、企画調整を考慮し３月の開催へ延期致しました。シンポジウムではコロナ禍でのエスカレーターの乗り方マナーを考えていき、現状の把握、今取り組むべき課題なども検証していきたいと思います。COVID-19 感染拡大により生活様式も変化していますが、エスカレーターを安心･安全･快適に利用するための「歩かずに立ち止まって乗る」習慣に変わりはありません。社会の流れに応じた感染予防をしつつ、正しいエスカレーターの乗り方が定着できるように活動していきたいと思います。

活動予定

〇シンポジウム　～コロナ禍でのエスカレーターの乗り方マナーを考える～

日　　時：2021 年３月 13 日 (土) 14：30 ～ 15：30　Web 配信　※聴講は無料

内　　容：岩渕幸洋選手（パラ卓球・日本代表）との対談 VTR

基調提言（社会学者などによる講演や事故検証報告等）

シンポジウム（学者、企業、東京都理学療法士協会などにより登壇予定）

申し込み URL：https://forms.gle/aYaAgdNq6zxNKEcj9

＜申し込み QR コード＞

詳細は決定次第、都士会 HP、エスカレーターマナーアップ推進委員会 Facebook にて案内をしていきます。

メディア掲載・情報

①　　足立区「障害者週間」の啓発活動 掲載

足立区では「障がい者の福祉についてもっと多くの人に知ってほしい！」という思いで様々なマークの特集がされました。12 月３日から 12 月９日は「障害者週間」と定められています。特集のなかで身に付けるマークとして当委員会のマークが紹介されました。

URL：https://www.city.adachi.tokyo.jp/shogai-c/fukushi-kenko/r2-shougaishashuukan.html

②　　練馬区 やさしいまち通信／地域福祉情報紙への掲載

練馬区内のやさしいまち通信 Vol.20 のエスカレーターの記事に当委員会のキーホルダー、昨年実施したアンケート結果が掲載されました。練馬区の HP から回覧頂けます。

URL：やさしいまち通信／地域福祉情報紙ねりま：練馬区公式ホームページ (city.nerima.tokyo.jp)

③　　人権啓発用ポケットティッシュへのマーク採用

群馬県太田市・太田市教育委員会・太田市人権教育推進協議会による人権啓発用ポケットティシュのポスターに採用していただきました。エスカレーターマナーアップの活動が人権啓発の一端を担い、誰もが安心安全に過ごせる社会につながることを祈念いたします。

太田情報商科専門学校　デザイン学科
グラフィックデザイナーコース
大島　沙弥
令和２年度人権ポスター作品

報告者：村田敬明（大久野病院訪問看護ステーション）

ESCALATOR MANNER

エスカレーターマナーアップ推進委員会

エスカレーター止まって乗りたい人がいるシンポジウム

コロナ禍での

エスカレーターの乗り方マナーを考える

2020 東京オリパラを機運醸成の契機と捉え様々な取り組みをされていたが、新型コロナウイルス感染拡大により軌道修正が余儀なくされた。
しかし、私たちが発信して続けてきた「エスカレーター交通としての安全性や、国際都市としての多様性」の重要性や必要性は何ら変わりない。この企画を通じて現状を把握し、今取り組むべき課題の優先性などを多角的に検証したい。

2021 3月13日(土)

14:00-15:30

web 配信

＊オンデマンド配信準備中

シンポジウム内容

- 岩渕幸洋選手（パラ卓球）VTR
- 本テーマに関する基調提言
  → 社会学者などによる講演やエスカレーターでの事故検証についての報告
- シンポジウム
  → 学者、企業、東京都理学療法士協会などより登壇予定

写真：岩渕 幸洋選手（パラ卓球）

＜申込み URL＞ ＊本シンポジウムの聴講は無料です。

https://forms.gle/aYaAgdNq6zxNKEcj9

公益社団法人
東京都理学療法士協会

東京都理学療法士協会事務局
〒151-0053　渋谷区代々木 2-26-5 バロール代々木 409
esca.pttokyo@gmail.com

渉外局 医療報酬部

部長　廣瀬　幸子

令和２年度診療報酬改定に関する影響調査報告

東京都理学療法士協会会員の所属する全医療施設を対象に「令和２年度診療報酬改定に関するアンケート調査」を実施させていただきました。以下に詳細を報告致します。

調査期間：2020 年９月 23 日～ 10 月 31 日
回答方法：Google フォームを利用したアンケート形式
広　　報：東京都理学療法士協会ホームページ掲載、FAX 通信、ブロック・支部へメール配信
回 答 数：136 施設　　回 答 率：27. 3％

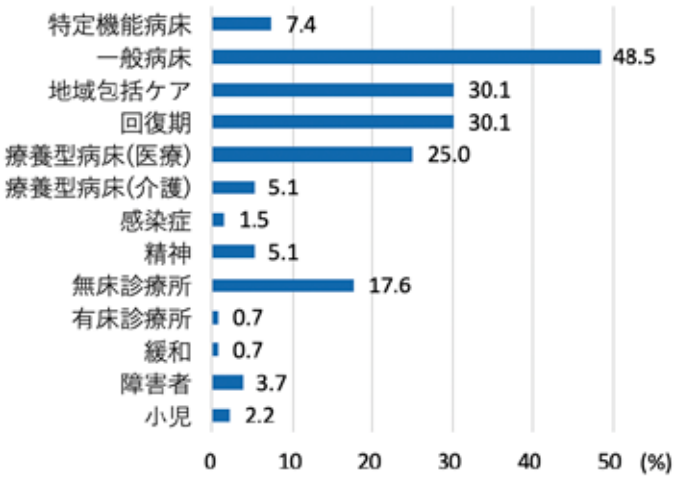
【回答者情報】所属ブロック（件数）

区西南部・区西部ブロック	19
区西北部ブロック	24
区中央部・区南部・島しょブロック	20
区東北部・区東部ブロック	27
西多摩・南多摩ブロック	21
北多摩ブロック	25

【回答者情報】所属施設での立場（%）

部長・課(科)長	50.0
施設長	1.5
技師長	1.5
係長	14.0
主任	22.1
チームリーダー（などの管理職）	3.7
一般職員	6.6
1人職場	0.7

【回答施設の病床機能割合】

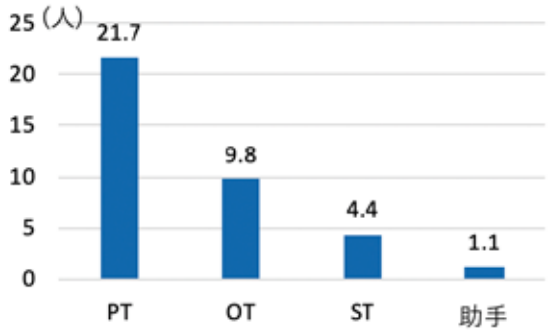


【回答者情報】経験年数

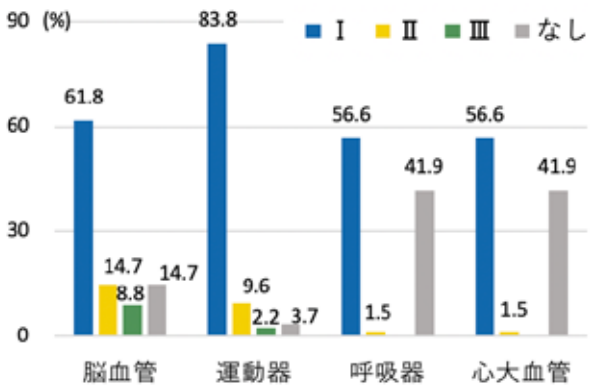
5 年目以下	1.5
10年目以下	10.3
15年目以下	29.4
20年目以下	29.4
25年目以下	15.4
30年目以下	5.1
31年目以上	8.8

(%)

【今年度の常勤スタッフ数　平均】

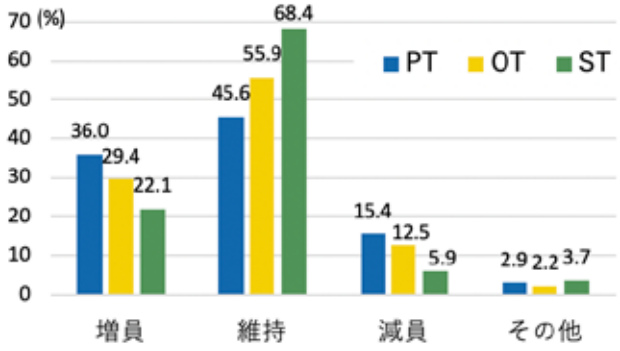


【施設基準】

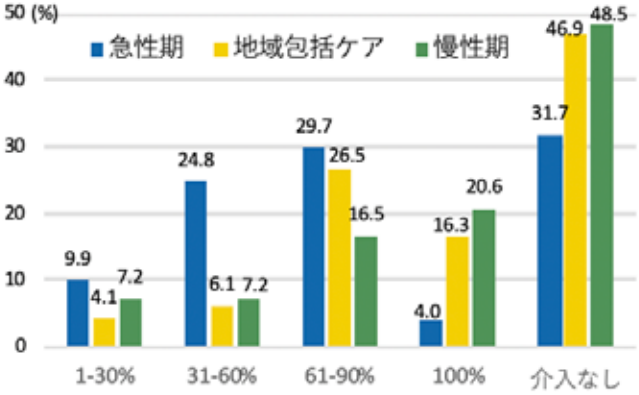


がん	27.9 %
認知症	2.9 %
障害児(者)	5.9 %
難病	2.2 %

【スタッフ数の変動割合】



【病期機能別リハ介入割合】



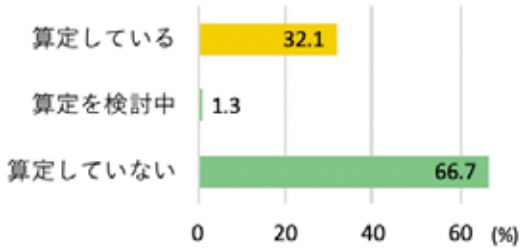
・高度急性期病床

1-30%	9施設(ICU,HCU)
31-60%	3施設(ICU,HCU)
61-90%	6施設 (ICU,HCU,CCU,SCU)
91-100%	4施設(ICU,SCU)

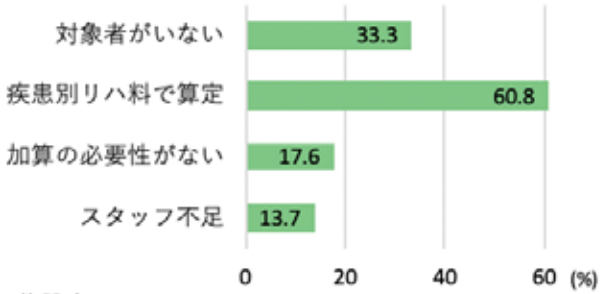
・緩和ケア　5-10%　1 施設

※回復期病床は処方100%として除外

【早期離床・リハビリテーション加算】



【算定していない理由】（複数回答）



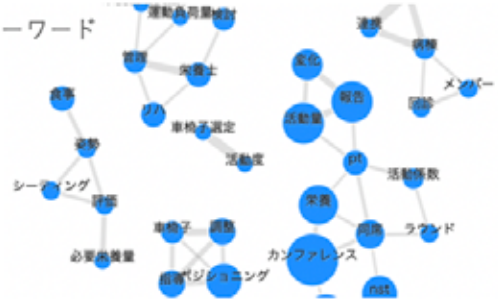
参考：高度急性期病床のリハ介入割合(右上の表)を回答した22施設中
早期離床・リハ加算を算定している施設　36.4％

【回復期リハビリテーション病棟】N＝42

1、「適切な栄養管理の推進」が求められているが、PTはどのように関わっていますか？(自由記載)

ワードクラウド

共起キーワード



「NSTやカンファレンスにPTが同席し活動量の変化や運動負荷量等について情報共有を行っている」、
「車椅子選定やシーティングにPTが積極的に関わっている」等の回答があった。
関わりがない施設も少数あった。（図は自由記載文をUserLocal社テキストマイニングツールを使用し解析）

2、入院患者の発症からの期間に係る事項が削除されました。
4月から現在までに、前年度までは入院要件を満たせなかった患者の入院はどの程度いましたか？
（自由記載から回答件数を集計）

症例数	全体の0～10%	33.3
	全体の20%	4.8
	1～数例	11.9
疾患	脳血管疾患	26.2
	運動器	9.5
	廃用症候群	2.4
発症からの期間	6ヶ月超過	2.4
	4ヶ月	4.8
	3ヶ月	2.4
	2ヶ月	4.8
なし		42.9

(%)

渉外局 医療報酬部

部長　廣瀬　幸子

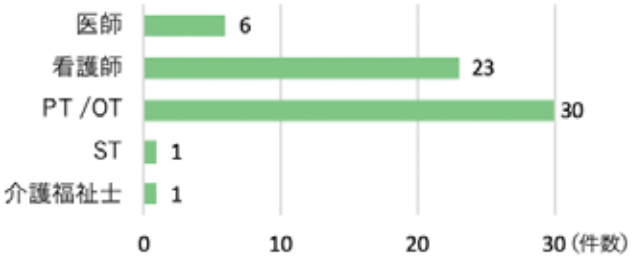
令和２年度診療報酬改定に関する影響調査報告

【地域包括ケア病棟】N＝42

1、入棟経緯

自院内の急性期病棟から	47.4%
他院の急性期病棟から	21.2%
自宅からの入院受入れ	21.5%
介護施設等からの緊急入院受入れ	9.6%

2、入棟時のADL評価（判断）はどの職種が担っていますか？
（複数回答可.自由記載回答を追加し集計）



【ST領域の拡大】
呼吸器リハビリテーション料の算定（件数）

算定している	19
算定を検討中	3
算定していない	14
摂食嚥下療法として介入	4
ST不在	4
施設基準を満たしていない	1

【リハビリテーション実施計画書】

1、変化はあったか？

改定前と変化はない	88.1%
早期介入が可能となった	11.9%

2、様式が整理された点について

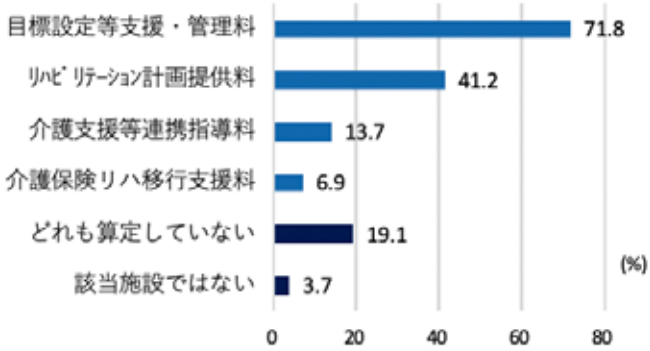
説明・作成しやすくなった	38.1%
説明・作成しにくくなった	16.7%
業務量が減った	11.9%
業務量が増えた	33.3%
改定後の様式を作成していない	11.9%
リハ総合実施計画書は作成していない	2.4%

3、運動量増加機器加算

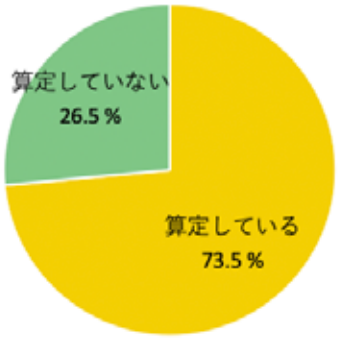
算定している	4.8%	能動型上肢用他動運動訓練装置
		歩行神経筋刺激装置
検討中	4.8%	能動型上肢用他動運動訓練装置
算定していない	90.5%	

【介護保険との連携】

1、算定している加算



2-1、目標設定等支援・管理料

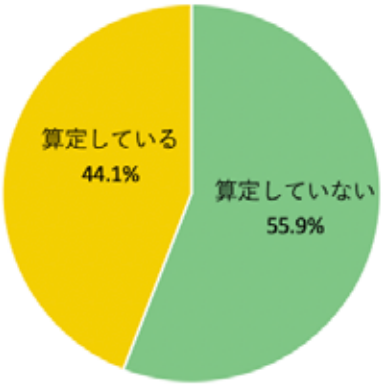


2-2、算定していない理由

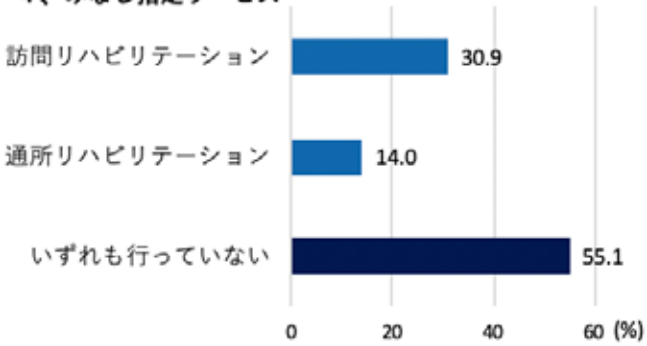
- 他職種との連携が困難
- マンパワー不足
- 業務量の増加、書類作成に手間がかかる
- 対象者が少ない、対象者がいない

【介護保険との連携】

3-1、リハビリテーション計画提供料Ⅰ



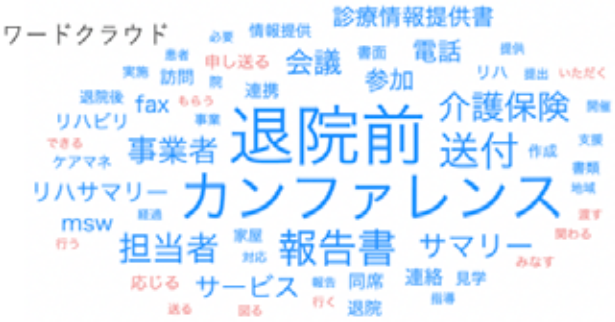
4、みなし指定サービス

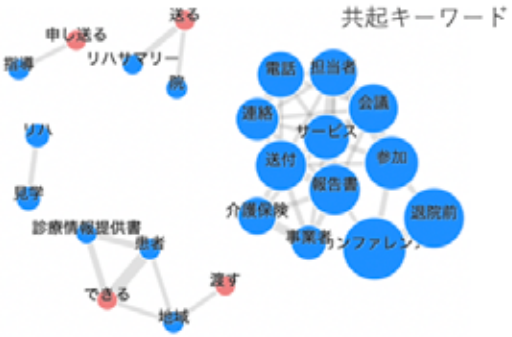


3-2、算定していない理由（自由記載）

書類作成など業務量が増える、対象者がいない・介護保険へ移行する患者がいない、必要性を感じていない

5-1、連携手段（自由記載）





「退院前カンファレンスの参加」、「報告書作成、送付」、「サービス担当者会議参加」、「電話連絡」等の回答があった。（図は自由記載文をUserLocal社テキストマイニングツールを使用し解析）

5-2、連携していない理由（自由記載）

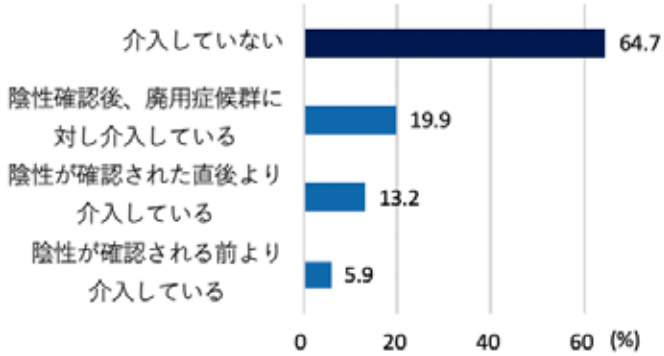
介護保険を利用する対象者がいない、業務時間内に対応が困難、連携機会がない、患者の自主性に任せている

【新型コロナウイルスへの対応】

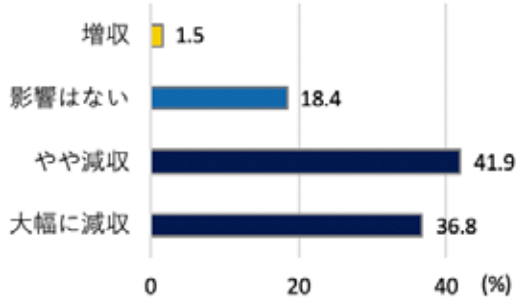
1、患者受け入れの有無

受け入れている	32.3%
受け入れていない	67.7%

2、リハ介入の有無（複数選択可）



3、収益への影響



渉外局 医療報酬部

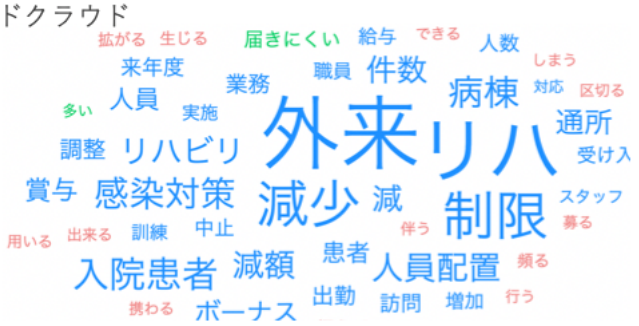
部長　廣瀬　幸子

令和２年度診療報酬改定に関する影響調査報告

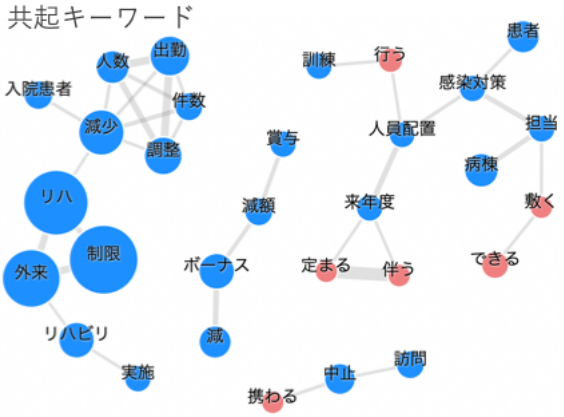
【新型コロナウイルスへの対応】

4、収益以外の影響（自由記載）

ワードクラウド



共起キーワード



「外来リハの制限」についての回答がもっとも多く、「人員配置調整」、「出勤人数の制限」、「処方数の減少」、「賞与の減額」等の回答があった。（図は自由記載文をUserLocal社テキストマイニングツールを使用し解析）

まとめ

本調査は診療報酬改定により医療施設にどのような影響や体制変化が生じたのかを調査する目的で毎年実施している。しかし、今年度は新型コロナウイルスによる影響が重なってしまい、令和２年度診療報酬改定の影響のみを抽出することが困難であったため、例年とは調査項目を変更して実施した。

回答施設の背景

今回の調査では例年に比して、一般病院が少なく回復期病床を有する施設の回答割合が多かった。また、「心大血管リハビリテーション料Ⅰ」の施設基準を取得する回答施設が昨年 (20.2%) に比し 56.6% と多かった。

病期機能別リハ介入割合

急性期病床を有する施設の半数は6割以上のリハ処方がある。高度急性期病床でのリハ処方割合は回答施設数が少ないため傾向は伺えないが、今後も急性期のリハ介入の在り方が課題となっており注視していく項目と考えている。地域包括ケア病床や慢性期病床のリハ処方割合は例年と変化はなかった。

早期離床・リハビリテーション加算

高度急性期病床を有する施設は 36.4% で算定していた。新設された当時から疾患別リハビリテーション料で算定している、専従スタッフの配置などで費用対効果が期待できない点が算定可否の理由として上がっている。

回復期リハビリテーション病棟

今年度改定でも入院料の見直しにより「適切な栄養管理の推進」が求められており、NST やカンファレンスへ参加、身体活動量の測定や報告、ポジショニングや車いすシーティングに PT が多く関わって

いることがわかった。また改定により、入院期限の発症からの期間に係る事項が撤廃されたが、改定前の期間を超えて入院する症例はまだ少数であることがわかった。具体的な症例を提示し急性期病院で活用できるよう来年度も調査を行う。

地域包括ケア病棟

入棟時の ADL 評価 (判断) は医師のみではなく、看護師やリハ専門職が多く評価に携わっていることがわかった。

リハビリテーション実施計画書

９割弱の施設で今年度改定での変化はないと回答しているものの、様式が整理された点に関しては様々な意見が聞かれた。またリハビリテーション総合計画評価料に新設された「運動量増加機器加算」を算定している施設はわずかであった。対象機器の少なさや算定期限などが影響していると考えられるがリハロボット分野は今後も発展が期待されており変化を追っていく。

新型コロナウイルス対応

調査時期は非常事態宣言から半年経過した時期であり、回答者の８割が主任以上の役職者であった。それらの理由から、施設や個人 (賞与) の収入面への影響はさることながら、外来リハを制限するなどの業務調整、出勤人数や人員配置調整、感染対策に多くのストレスを抱えて業務遂行をしたなどの意見が多く、９割以上の施設からご回答いただいた。今後も患者数の増加に伴いリハ介入も増えていくことが予想される。診療報酬 (収益) と感染対策を勘案して対応していかなければならない。来年度も影響を調査する予定である。

介護保険との連携

例年と大きな差はなかった。「目標設定等支援・管理料」や「リハビリテーション計画提供料Ｉ」を算定していない施設からは、業務量の増加に対して必要性や効果が期待できないとの意見が多かった。

医療報酬部では３月８日に本調査の報告と診療報酬からみた新型コロナウイルス対応についての意見交換会をオンライン講習会として開催する。また、診療報酬に関する相談・助言事業も行っており、詳細は東京都理学療法士協会ホームページをご参照いただきたい。

【本件に関する問い合わせ先】渉外局医療報酬部　shogai-hoshu@pttokyo.net

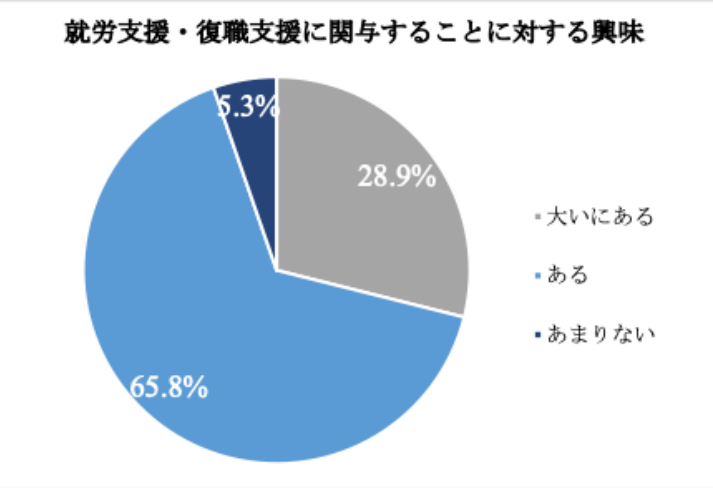
アンケート調査　結果報告

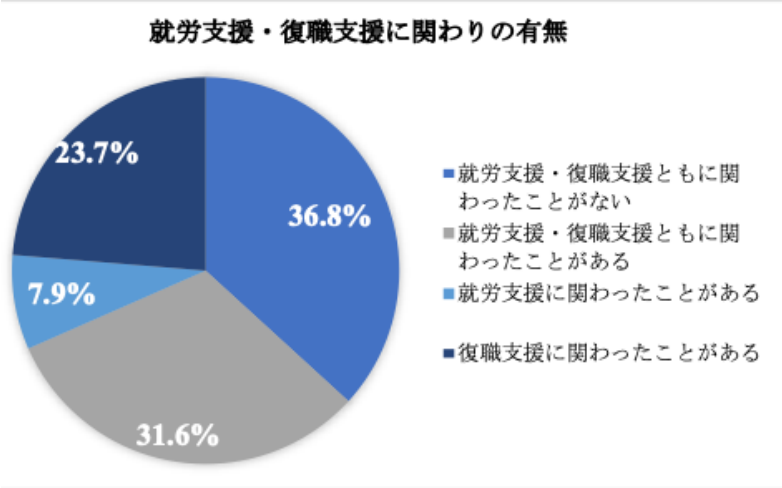
障害福祉部では、就労支援・復職支援における理学療法士の実際の関わりについて、アンケート調査を実施致しましたので結果のご報告を致します。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

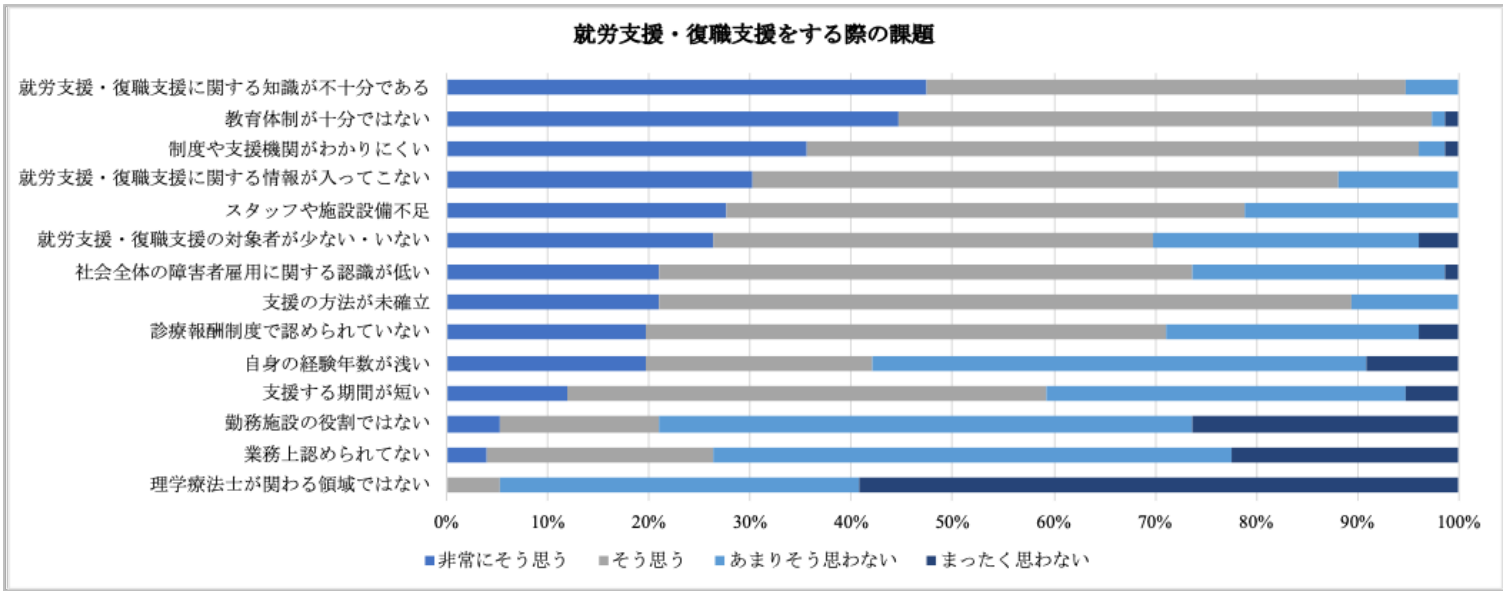
期間：2020 年 10 月 12 日～ 2020 年 11 月 30 日
方法：Google フォーム
有効回答数：76 名（男性；59 名 / 女性；17 名）
年代：20 代；7 名 / 30 代；25 名 / 40 代；33 名 / 50 代；11 名
経験年数：1 ～ 3 年目；1 名 / 4 ～ 6 年目；4 名 / 7 ～ 10 年目；10 名
11 ～ 15 年目；22 名 / 16 ～ 20 年目；19 名 / 20 年目以上；20 名

回答結果

a) 回答者全体へのアンケート結果（76 名）







アンケート調査　結果報告

b) 就労支援・復職支援経験者へのアンケート結果（48 名）

理学療法士の就労支援・復職支援の具体的な関わりとその関わりの割合（複数回答可）

(1) 運動機能の改善 : 93.8%

(2) 動作練習 : 93.5%

(3) 装具の調整 : 77.1%

(4) 家族への助言 : 77.1%

(5) 福祉用具の選定 : 72.9%

(6) 職場（物的）環境の評価・指導 : 56.3%

(7) 健康管理能力の維持・改善 : 54.2%

(8) 就労支援・復職支援の情報提供 : 47.9%

(9) 支援機関への助言 : 41.7%

(10) 支援制度活用・サービス利用援助 : 37.5%

(11) コミュニケーション技能の改善 : 33.3%

(12) 面談支援 : 25.0%

今後、我々障害福祉部は本アンケート調査の結果をもとに講演会や研修会を通して、東京都理学療法士の就労支援・復職支援をサポートしていきたいと思っております。

報告者：近藤　夕騎（国立精神・神経医療研究センター病院）

障害福祉部研修会開催報告

日　時：2021 年 1 月 27 日（水）　19：00 ～ 20：30

タイトル：　医療・福祉制度外での理学療法士の活躍　～社会課題にどのように向き合うか～

講 師：　小川　順也　先生（理学療法士　株式会社 Smile Space）

開催形式：　Zoom による Web 研修会

参加者：　34 名

【概要】

COVID-19 の感染状況を鑑みて、障害福祉部では初の試みとなる Zoom による Web 研修会を開催いたしました。講師は、発症早期のパーキンソン病の方を対象としたコミュニティ「PD Cafe」を運営している理学療法士 小川順也先生です。患者さんの声に耳を傾けて得られた課題に対して、どのように向き合ってきたか、これからどう展開していくか、特にコミュニティ作りの重要性と方法に関して、事例を通して具体的にお話しいただきました。

臨床では、“ 猫の首に鈴をつける ” という言葉のように、その患者さんのやりたいことや悩みに対して、保険制度内（もしくは業務内）でやることではないと、なかなか実行するに至れない / 至らないことを経験します。しかし、本研修会を通して、患者さんの本当の声に答えていくことに保険制度内、保険制度外という垣根はなく、私たちリハビリテーション関連職がやるべきことを改めて考えさせられ、身が引き締まる思いをされた参加者も多かったのではないかと思います。

報告者：近藤　夕騎（国立精神・神経医療研究センター病院）

青山学院大学フェンシング部サポート報告　～オンライントレーニング指導～

・日　時 :2021 年 2 月 13 日 土曜日
・使用ツール :ZOOM
・参加選手 :15 名程度
・理学療法士 :3 名

スポーツ局では今年度より青山学院大学フェンシング部のトレーニングサポートを行わせて頂いており体組成計やフィジカルテストにてフィジカルチェックを行い、テスト結果のフィードバック・トレーニングプログラム作成を行い選手へ指導を行っております。

昨年までは感染予防対策の元、学内でのサポート活動でしたが、緊急事態宣言の発令に伴い学内での部活動が制限されてしまいました。その様な中でフェンシング部コーチよりオンラインでのトレーニング指導の貴重な機会を頂きました。

事前準備として、オンライン上での不具合を想定しトレーニング動画（下図）を作成し、コーチ・選手に共有してオンライントレーニングを行いました。

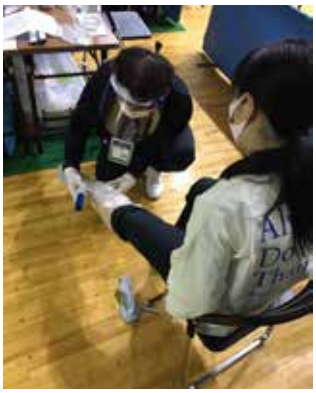
当日は大きなトラブルもなく指導行う事ができ、画面の中からでも選手のトレーニング姿勢を確認する事ができ修正点やポイント等をしっかりと伝えることも出来ました。またトレーニングメニューを STEP1 ～ STEP3 とレベル分けをして、チーム内でのトレーニングも継続して頂いた事でトレーニング効果も実感する事ができ、とても有意義なトレーニング指導になったと実感しております。コーチからも「トレーニング初期に比べてトレーニング効果は見えているようなので、レベル 3 をこなせるようになった段階でどのように競技に影響が出るか楽しみです。」とコメントがありました。

まだまだコロナ禍の収束が不透明な中、この様なオンライントレーニングは選手のコンディショニング・モチベーションの維持・向上にとても有用なサポート方法と感じましたので、より良いサポートが出来るようこれからも研鑽を重ねていきます。

報告者：スポーツ局スポーツイベントサポート部　西條攻（三宿病院）

日本フェンシング協会主催
JOC ジュニアオリンピックカップフェンシング大会メディカルサポート報告

・大会名：第 28 回 JOC ジュニアオリンピックカップフェンシング大会
・会　場：駒沢オリンピック公園体育館
・日　程：2021 年 1 月 7 ～ 10 日 (計 4 日間)
・担当理学療法士：延べ 8 名



2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大により、日本のアスリートの多くは試合のみならず練習をする機会や環境が大きく変化しています。その様な状況の中、日本フェンシング協会は選手へ試合環境を提供するために、本大会を実施するに至りました。本大会開催にあたり、無観客で必要最低限の人数での開催・感染拡大防止のための徹底した予防策・入館時の体温測定及び個人 ID による入退館管理を実施しました。大会は全 4 日間あり、それぞれ医師 1 名と理学療法士 2 名でサポートをしました。幸い、大会期間中に選手･スタッフ共に発熱等の体調不良者はいなく、大会経過後 2 週間以内に体調不良が生じた者もいませんでした。

私を含め本大会に参加した理学療法士は、2020 年以前は毎月の様にスポーツイベントのメディカルサポートやフェンシング関係の活動を実施していました。しかし、コロナ禍により今までの日常は変化し、長い期間を空けての大会サポートとなりました。正直、以前よりも選手への対応が不慣れになっていることを実感しました。

来る 2021 年 7 月に東京は世界のトップアスリートを招待し、世界最大のスポーツイベントであるオリンピック・パラリンピックを実施する予定です。私たち東京都理学療法士協会会員の中から、大会ボランティアとして選手村や各競技場で世界のトップアスリートへ対応する会員もいます。恐らく自身が感じている以上にこれから大会までの期間に、スキルアップのためのトレーニングが必要だと感じました。

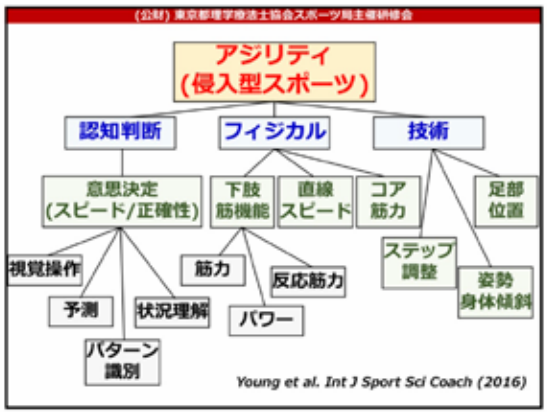
最後に、緊急事態宣言下においてもこの様な大会サポートのご機会を与えて下さった日本フェンシング協会様、活動を支援して下さる東京都理学療法士協会、それぞれの職場に心より感謝致します。

報告者：スポーツ局　スポーツイベントサポート部　北田利弘 (竹川病院)

スポーツ動作学習会「体力測定と動作観察」報告

・日　時：2021 年 02 月 08 日（月）19:00 ～ 20:30
・参加者：22 名（うち運営 3 名）
・形　式：WEB 開催
・講　師：笹木正悟先生
（東京有明医療大学／日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー）
・内　容：「体力測定と動作観察」- アジリティ / ストップ / 方向転換 -

今回、東京有明医療大学の笹木正悟先生をお迎えし、スポーツ動作でのアジリティ、ストップ、方向転換時の動作観察についてご講演頂きました。緊急事態宣言が出ている状況のためオンライン開催となりましたが、アジリティや俊敏性とは何かといったことから、アジリティの要素についてご教授頂きました。まとめのスライドを添付致します(右下図)。笹木先生の計測したデータや動画の提示による講義は、実際のスポーツ現場でも非常に生かせる内容でした。質疑応答でもジュニア期のアジリティ動作の考え方や様々な種目でのアジリティトレーニングのことについても丁寧にご教授頂きました。今回の研修を今後の地域のスポーツ活動に活かしていきたいと思います。



報告者：スポーツ局スポーツイベントサポート部
生井真樹（世田谷人工関節・脊椎クリニック）

車いすアスリート陸上教室サポート報告

・日　　程：2020 年 11 月 25 日、12 月 6 日、12 月 23 日、2021 年 2 月 11 日（合計 4 日間）
・会　　場：江戸川区陸上競技場
・参加者数：延べ 21 名
・派遣者数：延べ 12 名

江戸川区ではパラ陸上チャレンジサポートとして車いす陸上教室を開催しております。初心者から競技者までの学生に対してサポートをしています。今年度は 11 月から教室が始まり、スポーツイベントサポート部では教室運営のため感染予防対策を実施し、参加者に対してレーサー車いすへの移乗介助、レーサー車いすへのシーティングや調整、走行介助や誘導を行っています。教室では陸上競技のルールを参加者に覚えて頂き、自立して機器の操作ができること、競技大会へ参加できることを促しています。私たちもサポートを通してレーサー車いすの操作指導にも携わっていますが、回を重ねるごとに参加者皆様の成長を感じることができています。

これからも江戸川区職員、関係者の皆様と参加者やご家族様にパラ陸上の面白さを伝え、笑顔が見られるようにサポートを継続できればと思います。ご協力下さった皆様有難う御座いました。

報告者：スポーツ局スポーツイベントサポート部　部長　渡邊祐介（浮間中央病院）

報　告

局長　板倉尚子

第１回 WEB 語学研修会報告

【日時】2021 年２月 10 日 (水)20：30 ～ 21：30
【会場】Web 開催（Zoom）
【講師】宮川裕介（山口医院）、瀧本知未（練馬駅リハビリテーション病院）
【参加者】２名
【内容】

今回、WEB での語学研修会を初めて開催させていただきました。コロナ禍において多くの方が英語から離れて過ごされていたのではないかと考え、英語のレベルとしては初級から再確認していただく内容で行いました。お忙しい中にも関わらず、ご参加くださいました先生方ありがとうございました。初めての試みで不安もありましたが、講師陣も楽しみながら英語を学ぶ事が出来ました。

また次回も開催予定でございます。ご興味のある方は協会ホームページをご確認ください。

報告者：宮川裕介（山口医院）

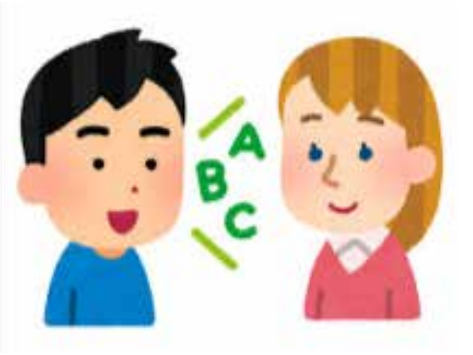
≪ちょっと気分転換　～英語の在宅学習に Try ～　part ④≫

この度は 11 月号に引き続き、第４弾になります。東京都理学療法士協会 国際競技大会・スポーツ理学療法推進部で語学を担当している宮川裕介（山口医院）と瀧本知未（練馬駅リハビリテーション病院）です。当推進部では理学療法士、またそれ以外の方々にも、この場をお借りして様々な語学情報を発信出来る事を嬉しく思います。息抜き程度に、ご一読下さると幸いです。

☆発音を間違えやすい単語☆

私たちが、カタカナで日常的に使用している言葉も、意外と英語で発音すると日本語での発音と違います。英語で話す際には気を付けましょう！！

① energy /énədʒi/（エネルギー）：「エナジー」
② allergy /ˈælədʒi/（アレルギー）：「アレジー」
③ olive / ɑ́ lɪv/（オリーブ）：「アリヴ」
④ career /kəríə/（職業、経歴、キャリア）：「カリア」
⑤ iron / ɑ́ ɪən/（鉄、アイロン）：「アイアン」
⑥ McDonald’s /məkd ɑ́ nldz/（マクドナルド）：「マクダナズ」
⑦ twitter /twítə/（さえずり、ツイッター）：「トゥウィッター」
⑧ virus /v ɑ́ ɪ(ə)rəs/（ウイルス）：「ヴァイラス」
⑨ vitamin /v ɑ́ ɪtəmɪn/（ビタミン）：「ヴァイタミン」
⑩ technique /tekní:k/（技術、テクニック）：「テクニーク」



災害対策委員会

お知らせ

委員長　松本　浩一

第 13 回災害時安否確認システム予行演習のお知らせ

災害対策委員会では、毎年 2 回実施しております、災害時安否確認システムの予行演習を実施致します。昨今の地震・豪雨等自然災害の増加を踏まえ、災害対策・対応基盤の構築が急務となっております。皆様、奮ってご参加いただければ幸いです。

【災害時安否確認システム】

目　的：①会員の安否状況の確認と各地域の被災状況を確認する
　　②上記の情報を災害支援やボランティア派遣に役立てる

【第 12 回災害時安否確認システム予行演習】

日　時：2021 年 3 月 11 日（木）～ 2021 年 3 月 18 日（木）

方　法：本会ホームページまたは以下 URL・QR コードから専用フォームにアクセスし、必要事項を記載・送信して下さい

備　考：東京都作業療法士会・東京都言語聴覚士会と合同での開催となります

＜ URL ＞ https://forms.gle/UCtBcjguqFwEV5Ep6

＜ QR コード＞

【お問合せ先】

医療法人財団健貢会　総合東京病院

診療技術部　リハビリテーション科 担当：松本・金子

TEL: 03-3387-5119（直通）　　E-mail: tokyopt.saigai@gmail.com

広報部外宣部

報　告

第 18 回看護フェスタのご報告

第 18 回看護フェスタ 2020 年　看護の日・看護週間に参加させて頂きました。

看護フェスタでは、これまで対面での健康チェックや相談を行っていましたが、今般の状況を踏まえ感染症拡大防止のためにオンライン上で都民の皆様の健康の保持増進のための様々な情報を発信することとなりました。　※会期（2020.12.1-2021.3.31）URL（https://kangofesta.tna.or.jp/）

公益社団法人東京都看護協会を中心に感染を予防する知識と技能を身につけた医療・福祉職の団体が協賛し、多職種で連携し、看護の心、ケアの心、助け合いの心を都民が分かち合うことができるよう様々な情報やコンテンツをオンライン上で公開しております。

サイトではコンテンツを「with コロナ」、「健康を維持するために」、「こんな時には ～ 子育て支援」、「自宅で療養生活」、「災害への備え」、「看護の世界」の六つに大別し、閲覧する都民の方が必要な情報を選択しやすくなっております。

当会は健康な状態を維持するために身体を動かす活動を継続することや、日頃から健康的な生活習慣を心がけることを啓蒙する「with コロナ」のカテゴリー内を担当しました。
長く続く自粛生活の中で、外出を控え、「動かない（生活不活発）」ことにより、身体や頭の動きが低下してしまうフレイル・サルコペニアの予防、通所やリハビリテーションになかなか通えない今、ご自宅でもできる効果的な運動を動画で紹介いたしました。

これからも都民の方々に対する理学療法の啓蒙活動のため、皆様のご協力をお願い致します。

報告者：松本　徹也（緑成会病院）

令和３年度研究助成　応募要領

＊募集時期が例年よりも早くなりました

1．研究課題

理学療法関連分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究を対象とします。

2．助成の概要

①応募資格

イ．理学療法士個人またはグループ、医療従事者、一般都民を対象とします。

ロ．大学院生でも応募は可能です。申込書に所属・専攻等を記載ください。

ハ．助成の決定・交付は、所属機関の倫理審査委員会の承認を条件とします。

②助成内容

1）研究機器貸し出し

イ．東京都理学療法士会が所有する研究機器について、単年度で無償貸し出しをいたします。

ロ．所有機器　＊各機器の詳細は各社ホームページ等をご参照ください。

1）ハンドヘルドダイナモメータ（アニマ社製ミュータス F-1）× 3 台

2）デジタルインクリノメータ（デュアラー IQ インクリノメータ）× 4 台

3）全身反応時間計測システム（マルチタイムカウンタ・多色刺激呈示器・反応キーボックス・マットスイッチ, DKH 社）× 1 セット

4）組織硬度計・圧痛計・徒手筋力計（伊藤超短波）× 1 セット

5）関節角度・EMG フィードバックシステム（フィードバックロガ・2 軸ゴニオメータ× 2・EMG × 2ch・コンタクトスイッチ, DKH 社）× 1 セット（電極等消耗品は含まず）

ハ．複数種類・複数台の申請は可能ですが、応募状況・研究内容等を勘案し貸し出し機器および台数を決定いたします。

ニ．他の応募者と貸し出し機器が重複する場合には、選考会議での評価が高い順に貸し出しを決定いたします。

ホ．研究期間中､貸し出した機器を別の研究のために使用することはできません｡病院等診療業務でこれを使用することもできません。

2）助成金額

イ．1 件 10 万円を上限とし、採択件数は総計 50 万円までとします。

ロ．研究機器の貸し出しを希望しない場合、助成金のみの申請も可能です。

③助成金使途

イ．研究に要する機器備品費，消耗品費、対象者交通費、通信運搬費、印刷・複写費のみとします。

ロ．旅費および研究補助者への謝金、10 万円以上の機器購入への充当に使用することはできません。

ハ．コンピュータ（タブレット PC を含む）の購入は、研究計画上必要と認められた場合に限り可能とします。単に測定データの入力や論文作成等で使用する場合には認められません。

④助成期間

年度末を原則とします。ただし、貸し出した研究機器につきましては研究の終了後速やかにご返却ください。

⑤助成決定時の義務・条件

イ．選考により助成対象者となられた場合は、所属機関の倫理審査委員会の承認を証明する書類と、所定の助成誓約書を提出していただきます。

ロ．上記 2 点の書類を確認後、助成交付をいたします。

ハ．助成誓約書の提出をもって、当協会への研究経過・完了の報告および貸し出し機器の返却等の義務を負っていただくことになります。

二．研究の終了後、1 年以内に研究成果を理学療法関連学会に報告し、論文化の後に学術誌へ投稿してください。原則として学会報告は、東京都理学療法学術大会または各領域の分科学会、関東甲信越ブロック理学療法士学会のいずれか、論文投稿先は『理学療法東京』または理学療法関連学会誌としてください。

⑥研究安全倫理審査委員会の承認

イ．所属機関（筆頭研究者または共同研究者）の倫理審査委員会の承認は必ず行ってください。所属機関に委員会がない場合、学会・協会等の外部機関での承認でもかまいません。

ロ．倫理審査委員会の承認が受けられない場合、採択が取り消しとなる場合があります。

3. 選考方法

選考会議において慎重に審議の上、学際的に貢献し得る研究を選考し、理事会において助成対象者を決定します。選考はマスキング審査で行います。

4. 応募期間

令和３年４月１日（木）～４月２８日（水）

* 応募件数または採択件数が少ない場合には、追加募集を行う場合があります。

5. 応募方法

応募要領を熟読の上、当協会ホームページから申込書（3 月末公開予定）をダウンロードして必要事項を記入し、電子メールに Word ファイルを添付のうえ下記までご提出ください。

6. 申込書提出先および問い合せ先

〒 160-8582　東京都新宿区信濃町 35 番地　慶應義塾大学病院リハビリテーション科内

東京都理学療法士協会学術局研究推進部　三森由香子

Tel/FAX.03-3354-1358　E-mail: tpta.r.s@gmail.com

倫理委員会

お知らせ

委員長　齋藤　弘樹

倫理委員会では発足後これまでに、①倫理規定の作成 ②ハラスメントの調査及び啓蒙活動 ③管理者向けのハラスメント研修 ③日本理学療法士協会における理学療法士賠償責任保険についての研修会等の活動をしてきました。

東京都理学療法士協会の活動は年々活発化しており、事業数も増加してきております。公益法人として会員の皆様には、厳正な倫理に則り、公正かつ適切な事業活動をすることを求められています。

倫理規定については、協会 HP からアクセスできますので、新年度の活動に向け、再度ご確認して頂ければと思います。倫理委員会では、今後も皆様の活動の支援となるような調査や研修会を企画していきます。

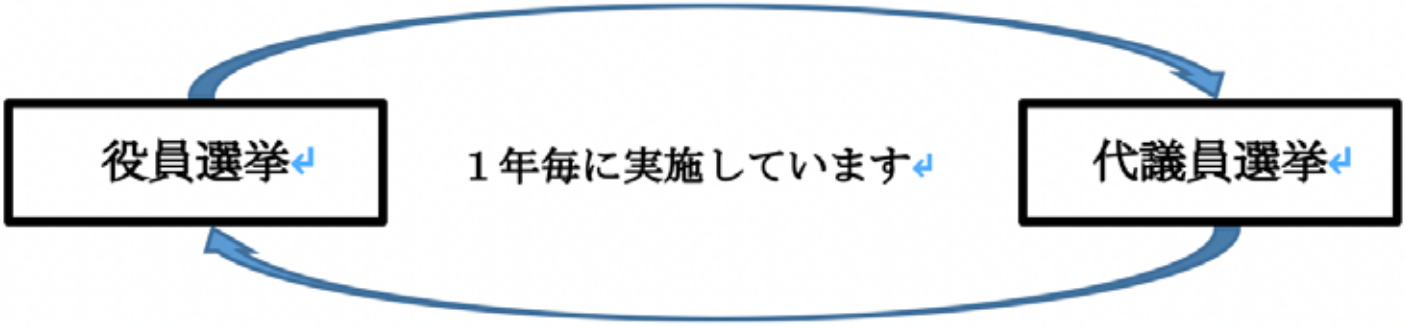
選挙管理委員会

お知らせ

委員長　高橋　雅人

選挙管理委員会より　役員（理事・監事）選挙についてのご案内

東京都理学療法士協会では、１年毎に役員選挙と代議員選挙を実施しています。



2021 年は役員（理事・監事）選挙が実施されております。
詳細は、東京都理学療法士協会ホームページ（URL：http://pttokyo.net/）をご確認ください。

立候補者については、
東京都理学療法士協会ホームページ ＞ 会員の方へ ＞　会員の方へのお知らせ
に詳細が掲載されておりますのでご確認下さい。

機関紙編集部

お知らせ

部長　中山　雅和

機関誌「理学療法　東京」投稿募集のお知らせ

士会では年一回、機関誌『理学療法　東京』を発行しており、投稿原稿を常時募集しています。投稿された原稿は査読者に依頼し掲載可能とみなされれば校正ののち、その時点で最も発行が近い『理学療法 東京』に掲載します。

生涯プログラムへの反映について
・新人教育プログラムは、反映されません。
・認定・専門理学療法士制度では，『3.-4)　その他の査読付きリハビリテーション関連雑誌の筆頭著者　10 ポイント』に該当します。
＊ただし、内容によって専門分野での認証されない場合があります。
反映される方は、発刊後に自己申請をお願い致します。

【論文内容】
1. 学術研究論文
2. 教育関係論文
3. 症例報告論文
4. 行政及び士会運営に関する論評等

【投稿者の資格】
公益社団法人東京都理学療法士協会会員に限る．但し会長が依頼した場合この限りではない．

【投稿原稿の条件】
投稿原稿は他誌に発表，または投稿中の原稿でないこと．本規定に従って作成すること．

【著作権】
本誌に搭載された論文の著作権は東京都理学療法士協会に属する．

【研究倫理】
ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し，説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと．

【原稿の採択】
原稿の採択は複数の査読者の意見を参考に編集委員会において決定する．査読の結果，編集方針に従って原稿の修正を求めることがある．また，必要に応じて編集委員会の責任において字句の訂正を行うことがある．

【執筆規定】
1. 論文構成
1）標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し，できるだけ簡潔に記載する．原則として略語，略称は用いない．
2）キーワード：標題及び要旨から 3 個を抽出する．不十分な場合は本文から補充する．3）著者名，所属名
4）要旨：「目的」「方法」「結果」「結論」を含めて 400 字程度で記載する．
5）本文：下記の各部分から成り立っていることを原則とする．
① はじめに（序論，諸言，まえがき等）
② 対象および方法（症例紹介）：倫理的配慮を記述すること．
③ 結果
④ 考察
⑤ 結論（まとめ）
⑥ 文献：引用文献のみとして本文の引用順に並べる．本文の該当箇所の右肩に一連番号を付ける．引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合，最初の 2 名を記載し，他は「･他」あるいは「et al.」とする．雑誌の場合は著者氏名，論文題目，雑誌名，巻，号，頁，西暦年号の順に記載する．単行本の場合は著者氏名，書名，編集者氏名，発行所名，発行地，年次，頁を記載する．

＜表記例＞
・藤田信子，桝田康彦・他：椅子座位における側方傾斜刺激に対する頸部・体幹・四肢の筋活動―筋電図学的分析．理学療法学 ,17:27-30,1990.
・Sepic,S.B,Murray,M.P,et al.:Strength and Range of motion in the Ankle in Two Age Groups of Men and Women.Am.J.Phys.Med,65:75-84,1986.
・真島英信，猪飼道夫：生体の運動機能とその制御 . 杏林書院 , 東京 ,1972,pp185-193.
・Junda,V.:Muscle Function Testing Butterworths,London,1983,pp224-227.

6）図表
原寸でそのまま掲載する（作図や縮小はしない）．図の番号および標題は図の下に，表の場合は表の上につける．本文と図表は分けて作成し，表・図・写真の挿入位置を本文の右欄外に指示する．

2. 原稿規定分量
原則として 400 字詰め原稿用紙 20 枚・8000 字以内とする．

3. 文字表記
原則として現代かな使い，数字は算用数字，単位は国際単位系（SI 単位）を用いる．

4. 略語
略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する．

5. 表紙頁，著者頁
　論文には表紙頁と著者頁をつける．表紙には標題，キーワード (3 個)，本文ページ数，図表枚数，原稿文字数を記載する．著者頁には著者名，所属名，責任者連絡先（住所・電話番号・Email アドレス）を記載する．表紙頁，著者頁の後に要旨・本文・図表を改めて記載する．

6. ページ番号・行番号
　原稿にはページ番号（最下部中央）と本文右（または左）に５行ごとに行番号を記載する．

【原稿送付方法および連絡先】
1）原稿送付先
原則として投稿原稿一式を 1 つのファイルにまとめ，電子メールに添付して下記へ送付する．上記が不可能な場合は問い合わせすること．

2）原稿送付先および連絡先
〒 189-0024　東京都小金井市中町 2-22-32
社会医学技術学院 理学療法学科 (担当者) 中山雅和
TEL：042-384-1030　　FAX：042-384-8508
E-mail：pt_tokyo_kikanshi@yahoo.co.jp
（平成 31 年 1 月 31 日　改定）

編集後記

２月も下旬となり、私たちの目の前には、年度末に向けて、さらには次年度に向けて様々な事が嵐のように目の前に現れてきます。特に COVID-19 感染拡大による緊急事態宣言下であることも大変大きく影響していると強く思います。

私自身の職場でも組織のレベルや個人のレベルで変化を求められています。さらには変化の質や量、スピードも求められているように感じます。時に順応し、時に抗いながらも、少しでも私たちを取り巻く環境が好転することを祈りつつ、編集作業を粛々と行っております。(M.I)

公益社団法人 東京都理学療法士協会 正会員数

9,634 名（令和３年２月１０日現在）

（事務局）　〒 151-0053　東京都渋谷区代々木 2-26-5　バロール代々木４０９号

Tel：03-3370-9035　FAX：03-3370-9036